

第19回 苫小牧市公共交通協議会兼第2回計画検討分科会【要旨】

日 時：令和元年10月17日（木）

場 所：苫小牧市役所 南庁舎9階 議会会議室

出席者：下夕村委員（会長）、木村委員（副会長）、木村委員（道南バス株式会社）、荒井委員（北海道中央バス株式会社）、吉田委員（あつまバス株式会社）、野坂委員（室蘭運輸支局）、村上委員（北海道：塩田委員代理）、清野委員（苫小牧市）、堺委員（苫小牧警察署）、岡橋委員（老人クラブ連合会）、佐藤委員（社会福祉協議会）、佐瀬委員（苫小牧南高等学校）、遠藤委員（商工会議所）、橋根委員（公募）、森委員（公募）

《協議事項》

議案第1号：緑跨線橋開通に伴う市内バス路線の変更について

- ・道南バスから、令和元年中に開通予定の国道276号緑跨線橋開通に伴う市内バス路線の変更についての説明
- ・対象路線は、01永福三条線、22市立病院港町循環線、30系統千歳空港線、31系統苫東工業基地線、都市間高速バス（苫小牧～札幌線）、郊外線（苫小牧～静内、平取、日高、登別温泉）各方面行き
- ・変更日は緑跨線橋開通の翌日
- ・01永福三条線については、市民要望があった市立病院経由の運行により、利用者から好評であることから迂回ルートを経路橋に戻すとともに、市立病院経由で運行
- ・22市立病院港町循環線、30系統千歳空港線、31系統苫東工業基地線、郊外線（苫小牧～静内、平取、日高、登別温泉）については迂回前に戻す
- ・都市間高速バス（苫小牧～札幌線）については、中野跨線橋経由の現行ルートで運行

⇒原案どおり承認

《議事事項》

議 事 1：都市計画マスタープランと公共交通関連部分の概要について

- ・都市計画マスタープランの概要について、将来都市構造について、公共交通関連部分についての説明

→委員から勇払地区の振興に関する意見があり、今後の計画策定の過程で議論したい旨を説明

議 事 2：地域公共交通網形成計画策定に向けた市民アンケート調査について

- ・市民アンケート案について説明
- ・委員により、アンケートを記入していただき、設問の疑問点や修正点について協議

→委員から、アンケート項目についての意見をいただき、それを踏まえて内容の修正をしたうえで各委員に送付、アンケート実施する旨を確認

議 事 3：地域公共交通網形成計画策定に向けた現況調査の中間報告について

【人口についての説明】

- ・人口の将来推計（2020年：17万人→2040年：15万人を下回る）
- ・将来推計を基に、地域区分に合わせて人口の状況を推計
- ・100mメッシュで人口密度を推計

【各施設の立地状況についての説明】

- ・教育施設の立地状況（大学、高等専門学校、高等学校、中学校、小学校など）
- ・商業施設の立地状況（スーパー、ホームセンターなど）
- ・医療施設の立地状況（総合病院、診療所など）
- ・行政施設（市役所等各種公共施設）

【1日の交通量の推移】

- ・パーソントリップ調査の結果をもとに、時間帯や方向別交通量を算出
- ・朝の通勤時間は西から東、夕方から夜の帰宅時間は東から西の移動が多い

【公共交通の現況】

- ・鉄道の状況（駅の立地状況や便数、駅別乗降者数、駅間利用者数などについての説明）
- ・路線バスの状況（バス停カバー率約90%、路線別便別の乗降客数、利用者数の推移、日別時間別バス停別利用者数など）
- ・タクシーの状況（認可台数など）

→委員から、乗車人数と減便の関係性についての質問があり、今後の分析の中で調査結果をまとめる旨を説明

以上